

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成28年10月1日から平成28年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,255	44,525
受取手形及び売掛金	78,302	※1 74,798
電子記録債権	1,862	※1 2,042
リース投資資産	4,172	4,105
商品及び製品	8,074	14,782
仕掛品	1,763	1,743
原材料及び貯蔵品	982	1,145
その他	8,809	8,879
貸倒引当金	△84	△85
流動資産合計	140,137	151,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,888	15,541
土地	12,401	15,139
建設仮勘定	2,593	4,271
賃貸不動産（純額）	12,410	14,297
その他（純額）	3,429	3,623
有形固定資産合計	43,723	52,874
無形固定資産		
のれん	※2 11,323	※2 11,675
その他	979	1,324
無形固定資産合計	12,302	12,999
投資その他の資産		
長期貸付金	10,098	10,284
その他	14,576	16,878
貸倒引当金	△2,430	△2,340
投資その他の資産合計	22,244	24,822
固定資産合計	78,270	90,696
繰延資産		
株式交付費	48	24
繰延資産合計	48	24
資産合計	218,456	242,658

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	71,074	※1 71,007
電子記録債務	10,058	※1 17,448
短期借入金	1,615	10,962
未払法人税等	3,255	888
賞与引当金	1,532	795
その他	11,569	15,873
流動負債合計	99,105	116,976
固定負債		
社債	2,050	—
長期借入金	29,168	28,102
退職給付に係る負債	2,080	2,533
資産除去債務	326	359
その他	4,201	4,896
固定負債合計	37,827	35,891
負債合計	136,933	152,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	20,356	23,716
利益剰余金	44,366	46,898
自己株式	△448	△448
株主資本合計	79,828	85,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,082	1,682
為替換算調整勘定	136	132
退職給付に係る調整累計額	△52	△49
その他の包括利益累計額合計	1,166	1,765
非支配株主持分	528	2,304
純資産合計	81,522	89,790
負債純資産合計	218,456	242,658

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	210,891	283,978
売上原価	186,239	253,576
売上総利益	24,651	30,402
販売費及び一般管理費	16,696	21,268
営業利益	7,955	9,133
営業外収益		
受取利息	233	247
受取配当金	63	105
負ののれん償却額	180	180
持分法による投資利益	11	—
貸倒引当金戻入額	49	85
その他	305	331
営業外収益合計	844	948
営業外費用		
支払利息	213	222
持分法による投資損失	—	11
為替差損	0	44
その他	136	181
営業外費用合計	351	459
経常利益	8,449	9,622
特別利益		
固定資産売却益	56	8
投資有価証券売却益	0	88
長期未払金取崩益	—	20
その他	4	0
特別利益合計	61	116
特別損失		
固定資産売却損	3	105
固定資産除却損	21	79
投資有価証券評価損	358	37
厚生年金基金脱退損失	—	208
のれん償却額	—	71
その他	62	8
特別損失合計	445	510
税金等調整前四半期純利益	8,064	9,228
法人税、住民税及び事業税	3,046	3,267
法人税等調整額	474	620
法人税等合計	3,520	3,888
四半期純利益	4,543	5,340
非支配株主に帰属する四半期純利益	81	91
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,462	5,249

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	4,543	5,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	599
為替換算調整勘定	△29	△2
退職給付に係る調整額	△14	3
その他の包括利益合計	△79	600
四半期包括利益	4,464	5,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,382	5,848
非支配株主に係る四半期包括利益	81	92

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
(連結の範囲の重要な変更) 第1四半期連結会計期間において、小西共和ホールディング(株)とその子会社小西医療器(株)、共和医理器(株)、(株)野上器械店及びメディカルロジスティクス(株)については、新たな株式の取得と株式交換を実施したことから連結の範囲に含めております。 なお、当該連結の範囲の変更は、当第3四半期連結会計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与える見込みです。当該影響の概要は、連結貸借対照表における総資産及び総負債の増加、連結損益計算書における売上高等の増加及び連結キャッシュ・フロー計算書における営業キャッシュ・フロー等の増減であります。 第2四半期連結会計期間において、日本パナユーズ(株)とその子会社である大阪パナユーズ(株)については、新たに株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。 当第3四半期連結会計期間において、昭島国際法務PFI(株)を新たに設立したことにより、連結の範囲に含めております。また、Ship Aichi Medical Service, Ltd. については、重要性が増したことにより、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
(会計方針の変更) 法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。 この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
受取手形	－百万円	360百万円
電子記録債権	－百万円	321百万円
支払手形	－百万円	1,208百万円
電子記録債務	－百万円	1,606百万円

※2 のれん及び負ののれんの表示

のれん及び負ののれんは、相殺表示しております。相殺前の金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
のれん	12,144百万円	12,316百万円
負ののれん	821百万円	641百万円
差引額	11,323百万円	11,675百万円

3 保証債務

連結会社以外の会社の借入及び仕入債務に対し、次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
	－百万円	日本メディカルアライアンス(株) 6,792百万円

4 当座貸越契約について

当社及び連結子会社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行と当座貸越契約を締結しております。当座貸越契約に係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
当座貸越極度額の総額	24,810百万円	44,140百万円
借入実行残高	1,615百万円	10,962百万円
差引額	23,194百万円	33,178百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
減価償却費	1,938百万円	1,947百万円
のれんの償却額	1,341百万円	1,603百万円
負ののれんの償却額	△180百万円	△180百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月26日 定時株主総会	普通株式	2,717	55	平成27年3月31日	平成27年6月29日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	2,717	55	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	63,297	113,227	15,009	17,992	209,526	1,364	210,891	—	210,891
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	934	660	42	82	1,719	21	1,741	△1,741	—
計	64,231	113,888	15,051	18,074	211,246	1,385	212,632	△1,741	210,891
セグメント利益	4,867	1,524	159	1,709	8,260	69	8,330	△374	7,955

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△374百万円には、セグメント間取引消去28百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△403百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、(株)西野医科器械株式を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「メディカルサプライ事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては2,495百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	55,364	191,695	15,829	18,071	280,960	3,017	283,978	—	283,978
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,360	1,283	20	1,379	5,043	29	5,072	△5,072	—
計	57,724	192,978	15,850	19,450	286,004	3,047	289,051	△5,072	283,978
セグメント利益	5,175	1,790	480	1,716	9,163	115	9,278	△145	9,133

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△145百万円には、セグメント間取引消去△15百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△132百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、小西共和ホールディング株式会社を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象により「メディカルサプライ事業」セグメントにおいて、前連結会計年度の末日に比べ資産が42,607百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、小西共和ホールディング株式会社を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「メディカルサプライ事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,066百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	90円33銭	103円99銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	4,462	5,249
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	4,462	5,249
普通株式の期中平均株式数(株)	49,405,169	50,479,732

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。